

第 2 部 活動報告

1. 活動記録

2020 年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。

| | | |
|-----------------|---|---------------------|
| 開催件数 | 研究会(講演会、シンポジウム含む) | 10 件 |
| | 公開講座 | — |
| 刊行物 | 高等法政教育研究センター年次報告書 (2019 年度) | 2020 年 7 月 (WEB 公開) |
| | ACADEMIA JURIS BOOKLET 2020 No.37 「台湾大法官积字第 748 号解釈に関する解 説－国際シンポジウム『同性婚をめぐる司法 と法学の展開』－」 | 2021 年 3 月 (WEB 公開) |
| 高校・中学等の 訪問対応 | — | |
| | — | |

2020 年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ一覧

| | |
|------------------------------|---|
| 06 月 06 日 (土) | <p>法理論研究会定例研究会「法的安定性と紛争——行政法解釈の自動化と異化」</p> <p>時間:14 時～ 場所:(cisco Webex を利用したオンライン・ミーティング) 報告者:米田雅宏氏(北海道大学大学院法学研究科・教授、行政法) テーマ:「法的安定性と紛争——行政法解釈の自動化と異化」 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 07 月 18 日 (土) | <p>法理論研究会定例研究会 「市民の人格と生活様式——マックス・ウェーバーにおける市民社会の構成について」</p> <p>時間:14 時～ 場所:(cisco Webex を利用したオンライン・ミーティング) 報告者:林 祝鈺 氏(北海道大学大学院法学研究科・博士課程、法哲学) テーマ:「市民の人格と生活様式——マックス・ウェーバーにおける市民社会の構成について(仮題)」(博士論文構想報告) 主催:北海道大学法論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 10 月 24 日 (土) | <p>法理論研究会定例研究会「法多元主義とラテンアメリカにおける先住民法」</p> <p>時間:14 時～ 場所:(zoom を利用したオンライン・ミーティング) 報告者:Ruben E. Rodriguez Samudio 氏(北海道大学大学院法学研究科・助教、比較法) テーマ:「法多元主義とラテンアメリカにおける先住民法」 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 11 月 14 日 (土) | <p>法理論研究会定例研究会 「複合的社会における『法の支配』の存在条件と意義 ——複合的社会における政治共同体はいかにして可能か、という観点から——」</p> <p>時間:14 時～ 場所:(zoom を利用したオンライン・ミーティング) 報告者:村田 陸 氏(北海道大学大学院法学研究科・修士課程、法哲学) テーマ:「複合的社会における『法の支配』の存在条件と意義——複合的社会における政治共同体はいかにして可能か、という観点から——(仮題)」(修士論文中間報告) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 12 月 07 日 (月)、 10 日(木) | <p>公開講演会「アメリカはどこへ向かうのか:トランプ時代とこれから」</p> <p>時間:13:00～14:30(両日とも) 場所:Zoom を利用したオンライン講演会 第 1 部 12 月 07 日(月)13:00-14:30 「2020 年選挙の史的文脈」 古矢 旬 氏(北海道大学・東京大学 名誉教授) 参考文献:古矢旬『グローバル時代のアメリカ』(岩波新書、2020 年) 第 2 部 12 月 10 日(木)13:00-14:30 「トランプ政権とアメリカの司法」 会澤 恒 氏(北海道大学法学研究科 教授) 司会・コメンテーター:辻 康夫(北海道大学法学研究科 教授) 主催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター 共催:科研費プロジェクト 基盤(B)「多文化主義政策はいかにして受容されるか」</p> |

| | |
|--------------------------|---|
| 12月12日 (土) | <p>法理論研究会定例研究会 「実践的判断力の現象学的探究:いかにして普遍的規範は個別的状況へと適用されるのか」</p> <p>時間:14時～ 場所:(zoomを利用したオンライン・ミーティング) 報告者:宮田 賢人 氏(小樽商科大学商学部・准教授、法哲学・倫理学) テーマ:「実践的判断力の現象学的探究:いかにして普遍的規範は個別的状況へと適用されるのか(仮)」 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 12月26日 (土) | <p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>時間:14時～18時(予定) 場所:(zoomを利用したオンライン・ミーティング) 第1報告:「ハプスブルク統治以降のボスニアにおける近代法受容とイスラム法」 報告者:伊藤知義(中央大学教授) 第2報告:「中国における民事法律扶助の供給拡大とその背景(仮)」 報告者:坂口一成(大阪大学教授) 共催:「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 2021年 01月13日 (水) | <p>応用倫理・応用哲学研究教育センター研究会 「学校における性暴力被害とその解決への課題—札幌裁判原告・石田郁子さんのお話から」</p> <p>時間:18時15分～20時 場所:(ZOOMでのオンライン開催) 話し手:石田郁子(フォトグラファー) 聞き手:辻 智子(教育学研究院) 司会:瀬名波 栄潤(応用倫理・応用哲学研究教育センター) 主催:北海道大学大学院文学研究院応用倫理・応用哲学研究教育センター 共催:北海道大学大学院教育学研究院子ども発達臨床研究センター 北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 01月15日 (金)、 19日(火) | <p>公開講演会「コロナ危機から考える現代社会」</p> <p>時間:13:00～14:30(両日とも) 場所:Zoomを利用したオンライン講演会 参加費:無料 参加登録:要(定員100名) 第1部 01月15日(金)13:00-14:30 「行政学から見たコロナ危機」 村上 裕一 氏(北海道大学法学研究科 准教授) 第2部 01月19日(火)13:00-14:30 「自粛要請と法の支配——コロナ時代の法と正義」 森 悠一郎 氏(北海道大学法学研究科 准教授) 司会・コメンテーター:辻 康夫(北海道大学法学研究科 教授) 主催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 02月13日 (土) | <p>法理論研究会定例研究会「ジョン・ベル『法理論にとって比較法は必要か?』を読む」</p> <p>時間:14時～ 場所:(Zoomを利用したオンライン・ミーティング) 報告者:椎名 智彦 氏(青森中央学院大学経営法学部・准教授、英米法、比較法、法理論・法思想史) テーマ:ジョン・ベル「法理論にとって比較法は必要か?」を読む(仮) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |